

2014年10月

「南花台スマートエイジング・シティ」 団地再生モデル事業立ち上げ

地域住民を中心に、大阪府・河内長野市・
関西大学・(株)コノミヤが連携し、立ち上げ。



2015年4月

「南花台スマートエイジング・シティ」 団地再生モデル事業本格実施

「健康寿命の延伸」と「元気な住民の活躍
の場づくり」を柱とした総合的なまちづくり
を推進。

2019年6月

環境省「IoT技術等を活用した グリーンスローモビリティの 効果的導入実証事業」に採択

「開発団地におけるグリーンスロー
モビリティを活用したQoL(生活の
質)向上モデル事業」の採択が決定。

2019年12月

クルクル 本格運行開始

クルクルのAIを活用したオンデマンド運行
の実証実験がスタート。



2021年10月

クルクル 自動運転実装運行スタート

自動運転の第一歩として、
「電磁誘導線方式」による自動
運転の実装運行をスタート。



乗車方法等、
クルクルの
運行概要に
ついてはこちら



運営スタッフ募集中!

「クルクル」を一緒に運営していただける
方を募集しています。必要なのは、「やる
気」だけ。お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ

河内長野市役所 総合政策部 政策企画課 TEL.0721-53-1111
河内長野市社会福祉協議会 TEL.0721-65-0133

グリーンでスローな
クリーンモビリティ

温暖化防止の
救世主!

クルクルが
よ〜くわかる本



地球温暖化のこと ちゃんと知っていますか？

「地球温暖化」という言葉を知らない人は少ないと思います。産業革命以降、社会経済活動がより活発に行われるにつれて、二酸化炭素(CO₂)等の「温室効果ガス」が大気中に放出され、地球全体の平均気温が上昇している現象のことです。

このまま何も対策しなければ、約80年後の2100年には地球の平均気温は1.4～5.8℃、2000年頃からの平均気温が最大4.8℃上昇すると予測されています。

地球規模で気温が上昇すると、海面上昇や異常気象による、自然生態系や生活環境、農業などへの影響が懸念されています。

乗り物・工場

乗り物や工場で化石燃料を燃やしてCO₂を出しています

メタン、エタン
プロパン、ブタンなどの
温室効果ガス

石油

森林伐採

CO₂を酸素に変える森林が伐採されています

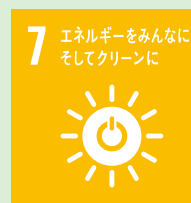
温暖化防止の
救世主！



グリーンスローなクリーン モビリティ クルクル

クルクルは南花台の未来を担う新しいコンセプトの乗り物。おうちの近所の電柱から目的地まで、ゆったりのんびり運んでくれる、地域住民による地域住民のための新しい移動サービスです。

「環境」にやさしい



「利用者」にもやさしい



P3・4参照

P5・6参照



「まち」にもやさしい



P7・8参照

「暮らし」にも 「家計」にもやさしい



P9・10参照

「環境」にやさしい クルクル は、まちを 守るヒーローです

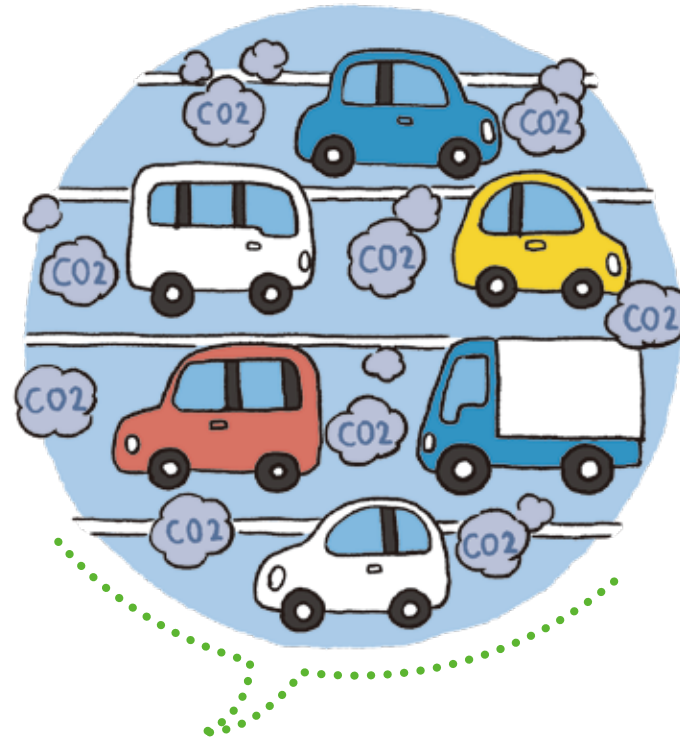
～地球温暖化防止の救世主！ グリーンスローモビリティ クルクルとは？～

ガソリンではなく、電気で走るクルクルは、
CO₂を90%も削減する環境にやさしい移動手段です。

2030年度のCO₂排出量を、2013年度比46%減を達成するためには、運輸部門からのCO₂排出量を削減する必要があります。自動車等の車両の低炭素化はもちろんのこと、マイカー等から低炭素な交通機関への転換が不可欠です。

その転換先の一つとして、「グリーンスローモビリティ」が注目を浴びています。環境省では、地域交通の大幅な低炭素化と、ラストワンマイルの確保、観光振興、中心市街地の活性化など地域が抱えるさまざまな課題を同時に解決できる「グリーンスローモビリティ」の導入を推進しています。クルクルはこのグリーンスローモビリティに当たるもので、ガソリンではなく電気で走るので、環境にやさしい移動手段なのです。

※グリーンスローモビリティ…時速20km未満で公道を走ることができる、4人乗り以上の電動カート



まちのSDGsを達成する

クルクルのおはなし 1

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



グリーンスローモビリティを活用し、化石燃料使用量を削減することによって脱炭素化、温室効果ガス排出量削減を実現します。



グリーンスローモビリティであるクルクルは、クリーンエネルギーの普及を実現します。

地球温暖化

温室効果ガス

脱炭素社会

「環境」にやさしいクルクルは、「利用者」にもやさしい！

～健康と福祉、コミュニティ形成に貢献するクルクルを取り巻く人たちの声～

どこに行くにも大助かり！

路線バスのバス停まで
遠いので、クルクルを
利用しています。

(70代・女性)

イベント参加には乗り合わせて

趣味の会がある集会所まで
は上り坂が続くので、クルクル
があり助かっています。

(80代・女性)

お買い物に便利!!

買い物帰りは、坂道なの
で、クルクルであればたく
さん買い物ができるので、
助かっています。

(60代・女性)

バスだとバス停まで歩かな
いといけないが、クルクル
は家の前まで来てくれるの
で、助かります。

(80代・女性)

親切だから安心です

最近、運転免許証を返納
して、車を手放したので、
助かっています。

(80代・男性)

運行スタッフの方が、とても
親切なので、感謝しています。

(80代・女性)

クルクルと

「健康」「福祉」のよりよい関係

クルクルは、公民館や集会所、学校、医療機関
などを自由に送迎します。乗りたい時に乗れる
オンデマンド運行により、高齢者や子育て世帯
が外出しやすくなり、コミュニティが活性化する
ことで、健康長寿につながるといった好循環が
期待されています。



運行拠点
車両保管場所
(コノミヤ南花台店内)

地域内電柱が
乗降ポイント
(乗降ポイント看板)



まちのSDGsを達成する
クルクルのおはなし 2

3 すべての人に
健康と福祉を



グリーンスローモビリティ
導入による移動支援によって、
健康づくりや子育て支援の
取り組みへの積極的参加を
促進します。



「環境」にやさしいクルクルは、「まち」にもやさしい！

～クルクルが「まち」にもたらしたこと、「未来」にもたらすこと～

クルクル導入目的の現在の達成度を確認しよう！

- 1** 車中心の生活から脱却し、環境に配慮できるまちを地域と一体で創出すること～CO₂削減効果は～

環境に配慮した低速電動ゴルフカートを使用し、CO₂の削減、脱炭素社会の実現を目指します(2019年度CO₂削減意識が高まった住民50.1%)。



- 4** 自立性のある運用ができる仕組みを構築すること

地域住民が主体となり、「運行チーム」「広報チーム」「予約受付チーム」の3チームで連携して運行しています(2020年度運営に関わった住民約60人)。



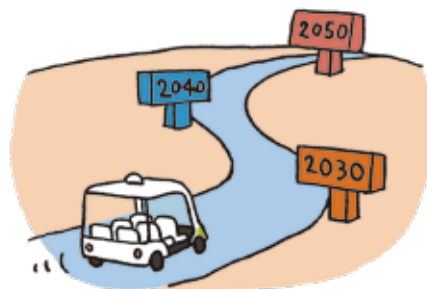
- 2** 地域の課題を具体的に解決するものであること
～地域住民の満足度は～

人口減少・少子高齢化が急速に進むまちで、利便性を向上し運行負担の軽減できるIoT開発を行っています(2020年利用者の満足度80%)。



- 5** 将来にわたり継続的に運用できる仕組みを構築すること

運営スタッフを随時募集することで、高齢者から子育て世帯まで、住民どうしが支え合えるまちづくりを推進しています。



- 3** 地域住民の生活の質(QoL)を高めるものであること

人の輸送にとどまらず、生活支援・健康づくり、子育て支援等により、多世代の交流なども促進しています。



- 6** 他地域への横展開ができる汎用性のある仕組みを構築すること

周辺の開発団地や農村集落をつなぎ、地域間交流による新たな可能性の創出に貢献しています。



まちのSDGsを達成する

クルクルのおはなし **3**

11 住み続けられるまちづくりを



多世代が自動車に頼ることなく、地域住民がつながりあい、ふれあいながら住み続けられるまちを創出します。



「環境」にやさしいクルクルは、「暮らし」にも「家計」にもやさしい！

～わたしたちの暮らしに寄り添うクルクルは、さまざまなシーンで大活躍～

交通インフラの整備はもちろん、
災害時にも活躍する。それがクルクルです。

高齢化に伴う免許返納も
あり、買い物支援や住民
輸送に対するニーズに
対応。交通インフラの整備
だけでなく、災害時の住民
サポートにも有効です。



交通インフラを整備することで
持続可能な産業化を促進します。



地域住民による交通インフラを整備し、包摂的で
持続可能な産業化を推進するとともに、IoTを活用
した技術革新の拡大を図っています。

災害時にも活躍します。



災害時には物資の輸送はもとより、蓄電池
としても使用することができます。

クルクルの有効活用で年間約10万円
節約することができます

クルクルは個別輸送（一般のタクシーなど）と比べ、
安価でのサービス利用が可能です。
たとえば、週2回、年間100日のお買い物で、クルクル
を利用した場合とタクシー初乗りを利用した場合で
比較すると、年間約10万円の節約が可能になります。
環境にも、暮らしにもやさしいクルクルですが、家計に
もやさしい乗り物です。

年間
約10万円
節約



まちのSDGsを達成する
クルクルのおはなし 4

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



クルクルによる交通インフラ
整備は、包摂的で持続可能な
産業化を促進し、社会に好影
響を与えます。

